

第3期宮前区区民会議 第7回地参知笑部会^{ちさんちしょう}

～ 地域の魅力を知り、地域社会への参加につなげ、笑顔あふれるまちに ～

日時：平成23年6月14日(火)18:00～20:00

場所：宮前区役所 第3会議室

次 第

- 1 前回の振り返り
- 2 冊子による情報発信と仕掛けづくりについて
- 3 その他

【配布資料】

- 資料1 第6回地参知笑部会 摘録(案)
- 資料2 (仮称) 地参知笑ガイドブックの骨子案
- 資料3 関連ガイドブック一覧
- 資料4 今後のスケジュール

第 3 期宮前区区民会議 第 6 回 地参知笑部会 摘録（案）

日 時 平成 23 年 5 月 16 日（月）18：00～20：00

場 所 宮前区役所 第 3 会議室

参加者 委 員 山下委員長、恒川副委員長、持田部会長、久保委員、河井委員、
高橋委員、中村委員、吉田委員
直本副委員長（オブザーバー）
事務局 有山企画課長、雨宮係長、白石職員
佐谷コンサルタント

1 前回の振り返り

持田 冊子の目的としては「コミュニティの参加を促すもの」だと思う。

2 冊子による情報発信と仕掛けづくりについて

①委員が作成した宿題の報告

高橋 つくってみてターゲットを誰にするか、2 年ごとに更新する仕組みをつくることが重要だと思った。

山下 目次をつくってきた。まず宮前区に引っ越してきた人が知りたい情報を掲載してはどうかと思った。また、ガイドブックのガイドという話があったので「るるぶ川崎市」等に掲載された宮前区の紹介記事を抜粋した。

区 種村委員の宿題で出された資料は、「ゲートボール等をやりたい人が連絡が取れる情報が掲載されているものがほしい」とのことだった。

恒川 高橋委員の作成した A5 判の冊子がいいと思った。10 分ぐらいで読めるもの。また、住んでいるエリアのことがわかるようなものがないのではないか。

②他の委員の目次アイデアの紹介

吉田 高橋委員の切り口がいいのではないかな。

久保 体験者のレポートが載っているといいと思った。長く住んでいるといろいろ載せたくなり厚くなる。このため、入居したばかりの若い世代、働き世代、高齢世代のおすすめコースをエリアごとにコーディネートし、体験を掲載する。

中村 大きさは A5 判で、エリアごとにまとめる。

河井 1 冊にするのは難しいと思う。種村委員の資料にあるようなガイドブックのガイドブックがあったらいいと思った。現在あるガイドブックを洗い出す作業が必要ではないか。また、タイムリーな冊子があるとよい。2 種類つくることも考えられる。

③目次案の検討

持田 これまでの意見をまとめると、転居した人をターゲットにする、参加ができるものとするのが上げられる。またガイドブックのガイドブックがほしいという意見があった。

久保 一般の区民がレポーターになったらいいと思う。「みやまえ子育てガイドとことこ」を使ってもらった体験もいいと思う。宮前を知りたい人のニーズを掘り起こしたい。

第3期宮前区区民会議 第6回 地参知笑部会 摘録（案）

我々も勉強になるし、楽しいのではないかな。

持田 ニーズを先に把握した方がいいのか。

直本 ニーズはある程度想定した方がいい。

恒川 個々のニーズはいろいろある。それをどう位置づけるか。また、地域性をどう反映させていくか。難しいと思う。

久保 難しいので、公募してその人達と一緒につくってはどうか。

恒川 種村委員の提案はいいと思うが、市民の団体は300～500ある。それを掘り下げていくと収集がつかなくなる。エリア別でつくってはどうか。

区 引っ越してきた人が地域で活動するに至るストーリーを紹介してはどうか。ゲートボールやいろいろな団体をすべて紹介するのは難しい。サンプルとして紹介する。

持田 ゲートボールをやりたい人が自分で参加するストーリーというより、動かない人を引っ張ってくるというのが元々のストーリーだったと思う。

直本 自分の地域から離れていたらいけないので、エリア内の活動を基本にする必要がある。

久保 健康の切り口なら、公園体操を体験してもらおう。そして、公園体操がこんなにあるということを紹介する。1冊だけではなく、何回か出していく。

恒川 エリアによって特性があると思う。それを出していつてはどうか。

高橋 エリアごとの冊子であれば、お散歩マップを掲載すればいいだけだと思う。また何かに参加することを促すだけで参加で終わってしまう。担い手育成につながる仕掛けもほしい。市民活動グループの情報発信の方法も重要だと思う。

直本 ニーズはいままでの話し合いである程度、出てきている。目次を作った方がいい。

吉田 高橋委員の目次の立て方がいいと思う。

持田 高橋委員の目次にエリア別を組み込む。

高橋 お店はどこまで載せられるか。

恒川 それは今後、議論していく。

区 グルメとして特定のお店を掲載することは難しいと思う。

持田 目次を検討したい。「引っ越してきたばかりの人」が目次でいいか。

恒川 地域ごとの目次としてはどうか。

佐谷 まずページ数を考えたらどうか。

持田 これまでの議論では、A4判で16～20ページ程度であったと思う。

恒川 エリア別で、その地域には、その地域の冊子だけを置くようにする。

高橋 マップにすると捨てられることが多い。

吉田 エリア別だと趣旨がぼけるのではないかな。

直本 坂道の場合はエリア別になると思う。まとめ方を違うようにしてはどうか。地産地消なら自分の住んでいるエリアにこだわらないと思う。

佐谷 引っ越したばかりの人を年代別に若い世代・働き世代、高齢世代の3パターンに分けると2ページ×6パターン＝12ページとなる。各パターンで1エリアを受け持つと6エリアはカバーできる。その他に体験できるページ4ページ、ゲーム2ページとすると18ページになる。

直本 「引っ越したばかりの人」より「宮前区をよく知りたい人」の方がいいのではない

第3期宮前区区民会議 第6回 地参知笑部会 摘録（案）

か。

高橋 若い世代には、高校生や大学生を追加してはどうか。また、ガイドブックのガイドは必要だと思う。ガイドブックについては各部署にどんなものを出しているか照会してその結果を観光協会のホームページに載せようと考えている。

山下 人口などは巻末に載せてはどうか。

持田 これまでの議論から目次としては以下のようなものが考えられる。

1. 宮前区をよく知りたい人のために（引っ越してきたばかりの人など）
 - ・高校生・大学生
 - ・若い世代（子育て世代）
 - ・働き世代
 - ・高齢世代
2. 体験できるページ
 - ・世代を超えて
3. ゲーム、参加
 - ・景品を出す？
4. ガイドブックのガイド
5. 宮前区のプロフィール、概要

持田 コミュニティに参加してもらうことや、宮前区を知ってもらうことが目的であることを忘れないで進めていく。

河井 宮前区が一生懸命やっていることが伝わると好きになってくれるのではないかな。また、行動につながることも期待できる。

持田 大まかな目次はこれでいいか。詰めていく中で削ったり、追加したりするものが出てくると思う。

恒川 「宮前区をもっと知っていただく」というタイトルにしてはどうか。

直本 見る方は「もっと知りたい」という思いで見るといい。

持田 被災地では震災前から顔見知りになっていたから避難所に行ってもよかったという話を聞いた。横のつながりをもってもらえるといいと思う。少しでも輪ができるといい。

区 中身を考えていただくようお願いしたい。余裕があれば紙で出してもらえるといい。

3 その他

- ・次回は6月14日（火）の6時から。

(仮称)地参知笑ガイドブックの骨子案

1 冊子の目的、対象

①コミュニティへの参加を促すものとする

②項目ごとにターゲットとなる読者を明確にする

- ・転入者や川崎都民など、情報が届きにくい層
- ・高齢者や子育て世代などの世代別などの切り口

③個々人がほしい情報をわかりやすく伝える

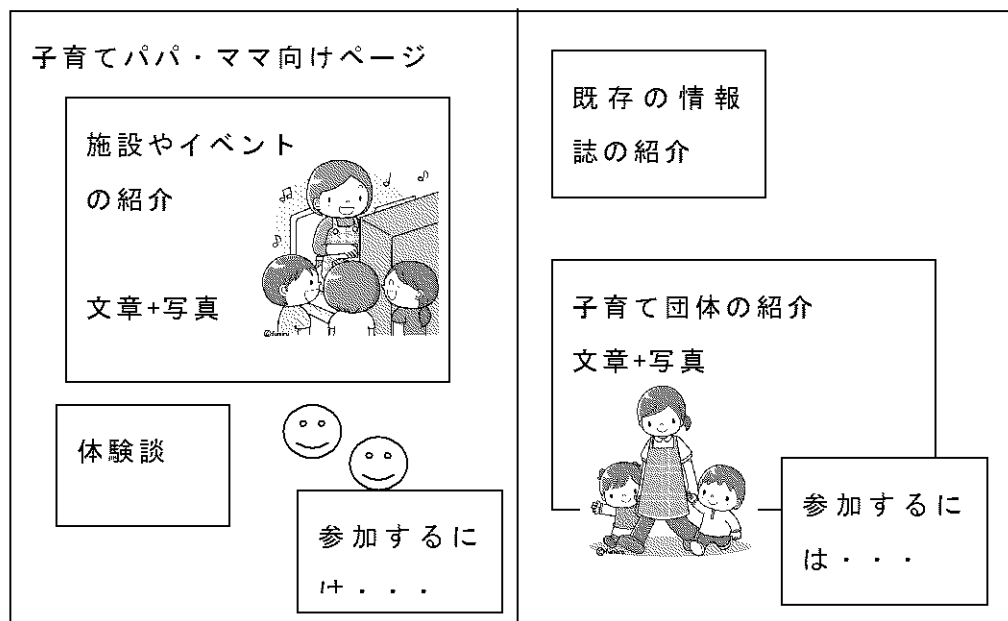
- ・ガイドブックのガイドブック的なイメージ
- ・10分程度で一通り読めるくらいのボリューム
- ・顔の見える親しみやすいものにする
- ・読み物としても面白いものとする

2 冊子の作り方、更新の仕方

①全体のボリュームは15～20ページ程度。短時間で通読できるようにする

②作る段階や更新する段階で区民が参加する仕組みをつくる

【冊子のページのイメージ例】



3 目次と主なコンテンツのイメージ

1 宮前区をよく知りたい人のために	
・ 高校生・大学生	・ 無料で勉強できる施設（施設紹介） ・ イベント・サークル紹介 ・ デートスポット
・ 若い(子育て)世代	・ 子育て情報（子育てサークル、店（子連れでも気にならない）、公園、散歩コース、病院） ・ 「とことこ」を使った体験レポート ・ 区民レポーターによる情報の紹介
・ 働き世代	・ 地域イベント（祭り・盆踊り・初詣等） ・ 散歩コース ・ 店（買い物・飲食）
・ 高齢世代	・ 健康づくり情報（運動、公園体操、スポーツ、散歩コース） ・ 交流 ・ ボランティア、サークル ・ 店
2 体験できるページ	
世代を超え体験（参加） できること	・ 御神輿担ぎ手募集 ・ 行事・イベント（盆踊り、運動会、お宮参り、交通安全祈願） ・ 体験農場、地産地消 ・ 坂道・活力部会とタイアップ
3 ゲーム、参加	
参加につなげるゲーム 的な仕掛け	・ 宝探し、謎解き、クロスワード ・ バッジプロジェクト、スタンプラリー
4 ガイドブックのガイド	
5 区のプロフィール	
	景色、歴史、産物

関連ガイドブック一覧

川崎市内をターゲットとしたガイドブック類				
分野	ガイドブック名	宮前区との関連	発行年月	発行部署
生活	かわさき生活ガイド	窓口業務・施設案内など	毎年	市民・こども局シティセールス・広報室
名所	川崎の産業観光	電車とバスの博物館	23年	経済労働局産業振興課
	かわさきのミュージアム	電車とバスの博物館	23年2月	博物館等連絡会事務局
	川崎日和	影向寺、菅生神社、等覚院、カッパーク鷺沼、フロンタウンさぎぬま、有馬療養温泉、宮前メロン、カトルカール、駿河屋製菓など	22年3月	経済労働局商業観光課 川崎市観光協会連合会
	かわさきいいな。	電車とバスの博物館 フロンタウンさぎぬま カッパーク鷺沼	22年	市民・こども局シティセールス・広報室
	Discover Kawasaki(外国人向)	有馬療養温泉	-	川崎市、観光協会?
自然	かわさきのみどり遊歩道 ガイドマップ	野川ふれあいの森 南野川ふれあいの森	-	環境局緑政課
産物	かわさき名産品	洋菓子工房マカデミア 太平屋野川店 駿河屋製菓	22年	川崎商工会議所 川崎市観光協会連合会
	かわさきそだち農産物共同直売所マップ	宮前直売所 かわさき農産物ブラン	22年5月	JAセレサかわさき 市農業振興センター
シニア	いきいきシニア活動インフォメーション	シニア活動	22年6月	総合企画局自治政策部

宮前区内を主なターゲットとしたガイド類			
分野	ガイドブック名	発行年月	発行(所管)部署
歴史	宮前歴史ガイド	22年3月	地域振興課
健康	宮前区公園体操マップ	22年8月	地域保健福祉課
	宮前区ストレッチ体操～風の中で～	22年	地域保健福祉課
市民活動	まちづくり・市民活動応援カタログ	22年2月	地域振興課
	みやまえ市民活動のなかま	23年2月	地域振興課
	宮前区市民活動応援マップ	22年3月	地域振興課
	「活動の場」ガイド	22年3月	地域振興課
	はいりませんか 町内会 自治会	-	地域振興課
自然	平瀬川探索マップ	21年	平瀬川流域まちづくり協議会
	水沢の森 花ごよみ	20年4月	水沢森人の会
	樹木の里めぐり	-	セレサ川崎など
子育て	みやまえ子育てガイドとことこ	22年	こども支援室
名所	みやまえガイドマップ	毎年	地域振興課
	宮前区ガイドブック	18年9月	地域振興課
産物	宮前区向ヶ丘地区周辺農産物直売所マップ	20年3月	市民館菅生分館
	宮前区食育ガイド	23年3月	地域保健福祉課
イベント	歳時記みやまえ	毎月	企画課